

日本神経科学学会 2024 年度 事業報告書

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日)

1 学術集会、講演会、研究会等の開催

(1) 2024 年度の年次大会である第 47 回日本神経科学大会を、第 67 回日本神経化学会大会、第 46 回日本生物学的精神医学年会、第 8 回アジアオセアニア神経科学連合コンgresと合同で、NEURO2024 として下記の通り開催した。

1. 大会長：岡部 繁男（東京大学大学院医学系研究科）
2. 会 期：2024 年 7 月 24 日（水）～27 日（土）
3. 会 場：福岡コンベンションセンター（福岡国際会議場、マリンメッセ福岡 B 館）

(2) 来年度以降の年次大会運営について

- ① 第 48 回日本神経科学大会（2025 年）の準備を進めた。
 1. 大会長：藤山 文乃（北海道大学大学院医学研究院）
 2. 会 期：2025 年 7 月 24 日（木）～27 日（日）
 3. 会 場：朱鷺メッセ
- ② 第 49 回日本神経科学大会（2026 年）の準備を進めた。第 69 回日本神経化学会大会、第 36 回日本神経回路学会大会と合同で NEURO2026 として開催することを決めた。
 1. 大会長：上口 裕之（理化学研究所脳神経科学研究センター）
 2. 会 期：2026 年 7 月 30 日（木）～8 月 2 日（日）
 3. 会 場：神戸コンベンションセンター（神戸国際会議場、神戸国際展示場）
- ③ 第 50 回日本神経科学大会（2027 年）の大会長として平井宏和先生（群馬大学大学院医学系研究科）を選出した。また、開催地を幕張メッセに決定した。
- ④ 第 51 回日本神経科学大会（2028 年）の大会長として合田裕紀子先生（沖縄科学技術大学院大学）を選出した。また、開催地を福岡コンベンションセンターに決定した。
- ⑤ 第 50 回日本神経科学大会（2027 年）、第 51 回日本神経科学大会（2028 年）の大会運営事務局として、公募形式により株式会社エー・イー企画を選定した。

2 会報、機関誌等の出版物の発行及び広報活動

(1) 会報の発行

会員向けのニュースレター「神経科学ニュース」を、2024 No.1（2024 年 4 月号）、2024 No.2（2024 年 7 月号）、2024 No.3（2024 年 11 月号）、2024 No.4（2025 年 2 月号）として、4 回発行した。

(2) 英文機関誌の発行

英文機関誌「Neuroscience Research」を、Volume 201（April 2024）から Volume 212（March 2025）まで 12 回発行した。

(3) 学会公式ホームページの更新

会員向け、一般向けの情報を随時更新した。

(4) 会員向けメール配信サービスの実施

会員にとって有益な情報をタイムリーに配信した。

(5) SNS を用いた情報提供

会員向け、一般向けの情報を随時発信した。また、SNS を用いて神経科学に関するアウトリーチ活動を行う方を学会の公式「ニューロナビゲータ」を募集した。選考の結果、6 名を 2024 年 8 月～2025 年 7 月までのニューロナビゲータとして任命し、活動を支援した。

3 国内外の関連学術団体、関係行政機関、産業界等との社会連携

(1) 日本学術会議、日本脳科学関連学会連合（脳科連）、日本生物科学学会連合（生科連）、男女共同参画学協会連絡会、その他関連する国内の他組織・他学会と連携・協力した。

(2) International Brain Research Organization (IBRO)、Federation of European Neuroscience Societies (FENS)、Federation of Asian Oceanian Neuroscience Societies (FAONS)、Society for Neuroscience (SfN)、その他関連する国外の他組織・他学会と連携・協力した。

(3) 本学会と Chinese Neuroscience Society (CNS)、The Korean Society for Brain and Neural Sciences (KSBNS) とは、CJK 国際会議の開催に関する 3 国間の覚書を締結した。また、本学会と Canadian Association for Neuroscience (CAN) との間で、①双方の年次大会への参加登録費を会員価格に割引する、②3 年に一度、双方の年次大会で合同シンポジウムを開催する、という内容の覚書を締結した。

(4) 生科連や脳科連を介して、関連省庁や政界、企業、神経科学関連国立研究所等と意見交換を行った。

(5) 以下のような活動により産学連携を推進した。

① 第 47 回日本神経科学大会 (NEURO2024 福岡) において、産学連携シンポジウム「改めて考える、社会課題の解決に対する神経科学の貢献」を開催した。

② 応用脳科学コンソーシアム (CAN) の活動を後援した。CAN の創設した応用脳科学資格検定制度の実施に協力した。

4 国際交流、学術賞授与、研究助成推薦等の事業

(1) 海外の学術集会等へ参加する会員のための旅費支援事業の実施 (Outbound)

① Chinese Neuroscience Society (CNS) 第 17 回大会 (蘇州) に参加するための Travel Award に 6 名を採択した。

② FENS Forum 2024 への Travel Award に 6 名を採択した。

③ SfN 年次大会 (Chicago) へ参加するための Travel Award に 15 名の応募があり、選考の結果 5 名を採択した。

(2) 海外から本学会の年次大会に出席する参加者のための旅費支援事業の実施 (Inbound)

第 47 回日本神経科学大会 (NEURO2024 福岡) に参加するための交換 Travel Award として、SfN から 5 名、FENS から 3 名、中国から 6 名を受け入れた。指定国枠の Travel Award では韓国 4 名、インド 2 名、イラン 2 名、一般公募枠では、米国 4 名、タイ 3 名、マレーシア 2 名、

オーストラリア、インドネシア、パキスタン、ポルトガル、中国（イラン国籍）、ペルー、台湾、ベトナムから各 1 名を採択した。

(3) 日本神経科学学会奨励賞の実施

第 47 回日本神経科学大会（NEURO2024 福岡）にて、2024 年度の奨励賞受賞者 5 名の表彰を行った。また、2025 年度の募集、選考を行った。19 名の応募があり（選考対象外を含む）、5 名を受賞候補者とした。

(4) Neuroscience Research 論文賞の実施

第 47 回日本神経科学大会（NEURO2024 福岡）で 2024 年度の NSR 論文賞（Best Paper Award 1 報、Excellent Paper Award 3 報、Highly Cited Paper Award 3 報）の表彰を行った他、Best Paper Award の受賞講演を行った。また、2025 年度の NSR 論文賞の選考を行い、Best Paper Award 1 報、Excellent Paper Award 2 報、Highly Cited Paper Award 3 報を決定した。

(5) 他団体の実施する助成金や賞への推薦

本学会が推薦枠や応募窓口を担っている各種賞や助成金（学会推薦枠 22 団体（賞））に対し、総計 12 名の審査・推薦を行った。また、時実利彦記念賞・時実優秀博士研究賞の選考、表彰を行った。

(6) アルトマン賞基金業務の受託

第 47 回日本神経科学大会（NEURO2024 福岡）に 2024 年度の実績者である Shawn Sorrells 氏（University of Pittsburgh）を招き、授賞式と受賞記念講演を行った。2025 年度の募集に対しては 9 ヶ国 14 名から応募があり、選考の結果、Tomohisa Toda 氏（Friedrich-Alexander Universität Erlangen-Nürnberg / Max-Planck-Zentrum für Physik und Medizin）に決定した。

5 その他目的を達成するために必要な事業

(1) 会員を対象とした教育及び啓発活動

- ① 第 47 回日本神経科学大会（NEURO2024 福岡）において、ダイバーシティ対応委員会主催のランチタイムミニシンポジウム「Meet your role models ～第一線を走る研究者によるキャリア紹介と若手に向けたメッセージ、および聴衆参加型ディスカッション～」を開催した。
- ② 第 47 回日本神経科学大会（NEURO2024 福岡）において、将来計画委員会主催のランチオン大討論会「私達が望む神経科学の研究環境—よりよき現在と未来へ向けて」を開催した。
- ③ 各種指針の策定・改訂・周知
 1. 理事や委員長の任期満了に伴う交代に向けて、「委員会の設置に関する規程」、「委員会に関する細則」を整備するための検討を開始した。

(2) 一般の方を対象とした教育及び啓発活動

- ① 脳科学オリンピック（Brain Bee）の開催を支援した。上位入賞者を第 47 回日本神経科学大会（NEURO2024 福岡）に招待し、授賞式を行った。
- ② 市民向けのイベントを以下の通り実施した。なお、2 の「脳科学の達人 2024」は、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）のうち、研究成果公開促進費「研究成果公开发表（B）」

の交付を受けた。

1. NEURO2024 市民公開講座 [第 1 部]

テーマ：3 学会合同市民公開講座「精神・神経疾患の現在地」

開催日：7 月 27 日（土）13:00-14:30

会場：福岡国際会議場 メインホール

2. NEURO2024 市民公開講座 [第 2 部]

テーマ：脳科学の達人 2024「明日のあなたが創る脳科学」

開催日：7 月 27 日（土）14:45-16:15

会場：福岡国際会議場 メインホール

- ③ 動画サイト（YouTube）で公開されている過去の市民公開講座動画「脳科学の達人」やシンポジウムの維持管理を行った他、2024 年度分を追加アップロードした。
- ④ WEB サイト「脳科学辞典」の維持管理、語句の追加・編集などを行った。

（3）JNS 創立 50 周年記念事業の実施

- ① 第 47 回日本神経科学大会（NEURO2024 福岡）の会場で、ポスター掲示、チラシ配布、クリアファイルの配布などを行い、会員への周知をした。
- ② 第 48 回日本神経科学大会（2025 年新潟）の会期中に開催予定の会員向けイベント「創立 50 周年記念シンポジウム」「アートデザイン展」の準備を行った。
- ③ 2025 年の夏休み期間中（2025 年 8 月 17 日～21 日）に日本科学未来館にて開催予定の一般向けイベントとして、シンポジウム「NeuroArt 50: 脳が生む創造性 — バイオ・AI・美学の交差点」、「アートデザイン展」の準備を行った。

（4）一般社団法人としての運営

- ① 以下の通り選挙を実施した。

1. 理事選挙

2025 年 6 月に 10 名の理事が任期終了となるため、これに代わる新理事候補 10 名を選出した。

立候補受付期間：2024 年 11 月 1 日～2024 年 11 月 17 日

投票期間：2024 年 12 月 24 日～2025 年 1 月 9 日

- ② 以下の通り会議を開催した。

1. 第 3 回（通算第 105 回）定時理事会・拡大執行委員会

日時：2024 年 5 月 17 日（金）11:00-15:20

場所：日本神経科学学会事務局および WEB 会議システム（Zoom 使用）

2. 第 1 回定時社員総会

日時：2024 年 6 月 20 日（木）17:00-18:00

場所：日本神経科学学会事務局および WEB 会議システム（Zoom 使用）

3. 拡大評議員会

日時：2024 年 7 月 25 日（火）12:00-12:50

場所：福岡国際会議場 第 3 会場（2 階 201）

4. 第 4 回（通算第 106 回）定時理事会・拡大執行委員会

日時：2024 年 12 月 6 日（金）13:00-17:30

場所：日本神経科学学会事務局および WEB 会議システム（Zoom 使用）

③ 会員管理・年会費関連業務・システム管理などの事務局業務

1. 入会・退会処理、会員種別・会員情報変更、問い合わせ対応等
2. 年会費請求（払込票発送、口座引落、各種入金処理等）
3. システム管理（会員管理システム維持管理、Web 総会、選挙、セキュリティ対策等）
4. 年次大会運営準備・支援
5. 委員会活動支援
6. 会計管理（出納、決算他）